

第 70 年度（令和 5 年度）事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

第70年度（令和5年度）事業報告

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

令和5年度の研究助成金として、研究助成（全国対象20件 1,000万円）、および特別研究助成（近畿2府4県以西対象8件 2,000万円）、計28件3,000万円を交付した。

1) 研究助成（50万円/件・年）：

4年目：5件、 3年目：5件、 2年目：5件、 新規：5件

計 20件 計 1,000万円

2) 特別研究助成

（近畿2府4県以西対象、250万円/件・年）：

2年目：4件、 新規：4件

計 8件 計 2,000万円

総計 28件 計 3,000万円を交付した

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

2. 令和6年度助成事業対象者の募集および審査・選考

1) 令和6年度特別研究助成

（1）募集テーマ等の決定

令和5年5月16日の第1回選考委員会・企画会議にて、令和6年度特別研究助成の募集テーマの選定および募集要項等の審議を行い、募集テーマを「新規モダリティの創生と最適化をめざす開拓研究」に決定し、審査分野を薬学系と医学系に分けて募集することとした。募集方法については、募集要項を近畿2府4県以西の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示することとし、Webシステムによる応募とした。また募集期間を令和5年9月1日から10月31日とすることも決定した。これらについて令和5年5月26日に選考委員長から理事長へ答申し、同年6月13日開催の理事会にて承認可決した。

(2) 募集および審査選考

令和5年9月1日から10月31日までの募集期間に薬学系11件、医学系16件、合計27件の応募があった。これらについて同年11月8日に選考委員長から選考委員に第一次審査としてWebシステムで書面審査を依頼し、令和6年2月20日開催の第2回選考委員会にて書面審査の結果を基に審議し、令和6年度助成者の選考等を行い、薬学系2名、医学系2名、計4名を助成者候補として決定した。結果について、令和6年2月28日に選考委員長から理事長へ答申し、同年3月11日開催の理事会にて承認可決した。

2) 令和6年度研究助成

(1) 募集および第一次審査

令和5年3月22日理事長より7名の理事及び評議員に令和6年度研究助成の候補者の選出を依頼し、徳島大学、北海道大学、理化学研究所、東京大学、立命館大学、大阪大学、九州大学等全国から7名の候補者が選出された。令和5年5月16日の第1回選考委員会・企画会議にてこれらの候補者の第一次申請書の審査を研究業績および当財団の目的に適う人物であるか等、以下のチェックポイントの観点から審議を行った。

- ・優秀な素質を有するが、財源不足等のため研究の継続が困難である研究者
- ・他からの助成を受けにくい薬学等の基礎研究を行なっている研究者
- ・特に若手で将来有望な研究者

審議の結果、5名を第二次審査の候補者として選定した。

以上の結果について、令和5年5月26日に選考委員長から理事長へ答申し、同年6月13日開催の理事会にて承認可決した。これら5名について同年8月1日に理事長より各選出者に第二次申請書の作成を依頼した。

(2) 第二次審査及び選考

第一次審査にて決定された5名について、第二次申請書により書面審査を行い、その結果を基に令和6年2月20日開催の第2回選考委員会にて審議し、この5名を令和6年度研究助成の被助成者候補とすることを決定した。以上の結果について、同年2月28日に選考委員長から理事長へ答申した。

令和6年3月11日開催の理事会にて、各候補者の選出者より研究概要及びチェックシート【別紙2】の内容、また当財団の目的に適った研究者であること等詳細に説明し質疑応答を行ったのち、理事会にて慎重に審議してこれら5名について令和6年度研究助成対象者として承認可決した。

3. 研究成果報告【別紙 3】

第 42 回研究助成発表会を令和 5 年 7 月 7 日、大阪新阪急ホテル（大阪府大阪市北区芝田 1 丁目 1 番 35 号）において開催した。

4. 設立 70 周年記念事業

設立 70 周年を記念して篷庵社賞を贈呈するにあたり、令和 5 年 8 月 21 日に篷庵社賞選考委員会を開催した。

III. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：令和 5 年 5 月 10 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 69 年度（令和 4 年度）事業報告の件

第 69 年度（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）事業報告書について原案通り承認可決した。

議題 3：第 69 年度（令和 4 年度）決算書承認の件

第 69 年度（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）決算について原案通り承認可決した。

議題 4：法人会計収益の公益目的事業への振替の件

原案通り承認可決した。

議題 5：理事、監事及び評議員推薦の件

原案通り承認可決した。

(2) 令和 5 年 6 月 13 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：理事長（代表理事）選定の件

全員一致で武田禮二氏が選定された。

議題 2：第 69 年度（令和 4 年度）定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

議題 3：令和 6 年度特別研究助成募集テーマ及び募集要項決定の件

原案通り、令和 6 年度特別研究助成の募集テーマを「新規モダリティの創生と最適化をめざす開拓研究」とすること等、承認可決した。

議題 4：研究助成金増額の件

原案通り承認可決した。

議題 5：令和 6 年度研究助成第一次審査の件

令和 5 年 5 月 16 日開催の選考委員会の決議通り、研究助成 5 名を原案通り承認可決した。

議題 6：「費用の弁償及び報酬規程に関する規則」改定の件

原案通り承認可決した。

議題 7：第 70 年度（令和 5 年度）収支予算補正の件

原案通り承認可決した。

議題 8：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

議題 9：篷庵社賞選考委員会設置の件

原案通り承認可決した。

議題 10：名誉理事選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

報告事項 2：定款変更の件

報告事項 3：理事長は令和 5 年度 1 回目の業務執行状況報告を行なった。

(3) 書面開催：令和 5 年 9 月 4 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：篷庵社賞受賞者決定の件

原案通り承認可決した。

(4) 書面開催：令和 6 年 1 月 15 日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題 1：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件

原案通り承認可決した。

(5) 令和 6 年 3 月 11 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：特定資産追加取得の件

原案通り承認可決した。

議題 2：第 71 年度（令和 6 年度）事業計画承認の件

第 71（令和 6 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 28 件とすること及び令和 6 年 7 月 9 日に第 43 回研究助成発表会を開催すること、また設立 70 周年記念事業として同年 7 月 8 日に篷庵社賞贈呈式を開催することを原案通り承認可決した。

議題 3：第 71 年度（令和 6 年度）収支予算承認の件

第 71 年度（令和 6 年度）収支予算について原案通り承認可決した。

議題 4：資金調達及び設備投資の見込みの件

原案通り承認可決した。

議題 5：令和 6 年度特別研究助成 受領者決定の件

令和 6 年 2 月 20 日開催の選考委員会の決議通り、令和 6 年度新規助成者について特別研究助成 4 名を原案通り承認可決した。

議題 6：令和 6 年度研究助成 受領者決定の件

令和 6 年 2 月 20 日開催の選考委員会の決議通り、研究助成 5 名についても慎重審議の上、原案通り承認可決した。

議題 7：選考委員長選任の件

原案通り承認可決した。

報告事項 1：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

報告事項 2：能登半島地震災害義援金の件

報告事項 3：理事長は、令和 5 年度 2 回目の業務執行状況報告を行なった。

2. 評議員会の決議事項

(1) 令和 5 年 6 月 13 日定時評議員会

(ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催)

議題 1：議長選定の件

互選により選定した。

議題 2：議事録署名人選定の件

互選により 2 名を選定した。

議題 3：第 69 年度（令和 4 年度）事業報告及び決算書承認の件

第 69 年度（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録等について原案通り承認可決した。

議題 4：理事、監事選任の件

原案通り承認可決した。

議題 5：評議員選任の件

原案通り承認可決した。

議題 6：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

原案通り承認可決した。

議題 7：定款変更の件

原案通り承認可決した。

(2) 書面開催：令和5年6月22日（評議員決議があったものとみなされた日）

議題1：第70年度（令和5年度）収支予算補正の件

原案通り承認可決した。

議題2：理事長報酬の件

原案通り承認可決した。

(3) 令和6年3月11日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田1丁目8番8号）において開催）

議題1：議長選定の件

互選により選定した。

議題2：議事録署名人選定の件

互選により2名を選定した。

議題3：特定資産追加取得の件

原案通り承認可決した。

議題4：第71年度（令和6年度）事業計画承認の件

第71（令和6年度）事業計画として研究助成金の交付件数を28件とすること及び令和6年7月9日に第43回研究助成発表会を開催すること、また設立70周年記念事業として同年7月8日に蓬庵社賞贈呈式を開催することを原案通り承認可決した。

議題5：第71年度（令和6年度）収支予算承認の件

第71年度（令和6年度）収支予算について原案通り承認可決した。

議題6：資金調達及び設備投資の見込みの件

原案通り承認可決した。

議題7：「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

原案通り承認可決した。

報告事項1：令和6年度特別研究助成・研究助成 受領者決定の件

報告事項2：選考委員長選任の件

報告事項3：能登半島地震災害義援金の件

3. 報告事項

(1) 令和5年6月13日

任期満了に伴い理事、監事、評議員の改選を行った。退任評議員：北村幸彦氏（名誉理事就任）
新任理事：荒金久美氏、新任評議員：山縣ゆり子氏、理事就任：米田悦啓氏、評議員就任：北泰行氏、桐野豊氏。武田禮二氏が理事の互選により理事長に選定された。

(2) 令和5年6月15日

法務局への役員変更登記を完了した。

(3) 令和5年6月23日

行政庁（内閣府）へ第69年度（令和4年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(4) 令和5年7月13日

行政庁（内閣府）へ「定款」、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」、「理事・監事・評議員の氏名」の変更届出を提出した。

(5) 令和5年7月13日

行政庁（内閣府）より補正通知書が届き、理事等の名簿について修正届出を提出した。

(6) 令和6年2月13日

令和6年能登半島地震災害義援金として100万円を日本赤十字社を通じて寄附を行った。

(7) 令和6年3月25日

行政庁（内閣府）へ令和6年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

(8) 令和6年3月25日

「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更届出を提出した。

以上

令和5年度研究助成金交付先一覧表

◆ 研究助成 (1件50万円×20件=計1,000万円)

*所属は申請時のもの

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ
4 年 目	大阪大学大学院薬学研究科	井川 貴詞	高歪み多環芳香族炭化水素の革新的合成
	国立医薬品食品衛生研究所	佐藤 薫	不飽和脂肪酸のグルタミン酸トランスポーター制御機構の解明と中枢神経系創薬への応用
	大阪大学産業科学研究所	滝澤 忍	環境低負荷型不斉ドミノ反応の開発と多官能性キラル複素環骨格構築への展開
	徳島大学大学院医歯薬学研究部 (薬学域)	立川 正憲	ヒト血液脳関門透過機構に基づく脳細胞標的化微粒子創製の基盤構築研究
	福井大学学術研究院医学系部門・分子生体情報学分野	山田 雅己	核移行因子 KPNA1 による軸索輸送制御メカニズムとその生理的意義の解明
3 年 目	大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室	大喜多 守	急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究
	北海道大学大学院先端生命科学研究院	北村 朗	神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロン RNA の実証
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	久米 利明	新規アルツハイマー病モデルマウス由来組織を用いたタンパク質プロファイリングによるバイオマーカーの探索ならびに薬効予測系の開発研究
	岐阜薬科大学	田原 耕平	粘膜バリア突破型微粒子による革新的 DDS の創製と細胞機能制御
	三重大学 大学院医学系研究科 統合薬理学分野	西村 有平	データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索
2 年 目	東京大学 大学院薬学系研究科	上野 匡	機能性小分子を応用した細胞内シグナル伝達の操作と可視化
	広島大学 両生類研究センター 発生研究部門 発生再生シグナル研究ユニット	鈴木 厚	誘導因子シグナルによる胚発生と組織再生の制御機構
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	南部 寿則	高反応性スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いる新規環状化合物合成法の開発とその応用
	大阪大学大学院 基礎工学研究科	久木 一朗	ねじれたパイ共役分子を用いた水素結合性キラル多孔質結晶材料の開発
	日本大学文理学部生命科学科	安原 徳子	核輸送因子 importin α の細胞内機能の切り替えとその生理作用の解明
新 規	徳島大学医歯薬学研究部 応用栄養学分野	瀬川 博子	成長・老化を制御するリン代謝調節機構の解明
	京都大学大学院医学研究科薬剤学/医学部附属病院薬剤部	中川 貴之	シュワン細胞を標的とした末梢神経再生に基づく末梢神経障害治療薬の探索
	高崎健康福祉大学薬学部・薬学科 分子動態制御学	中西 猛夫	肝物質動態の変化に基づく NAF LD の病態理解と診断法の開発
	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	藤井 晋也	有機金属化合物の特性を利用した分子設計法の開発と医薬リード創出
	大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野	山口 卓男	創薬応用に向けた多機能人工核酸の開発

◆ 特別研究助成 (1件250万円×8件 = 計2,000万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ	
2 年 目	薬学系	九州大学 大学院薬学研究 院疾患制御学分野	仲矢 道雄	線維化関連難治性疾患の創薬標的分子の同 定とその治療応用
	薬学系	大阪大学 大学院薬学研究 科	武村 直紀	細胞外微粒子による炎症応答を抑える高活 性化合物の機能解明と間質性肺炎治療への 応用
	医学系	川崎医科大学 医学部 分 子遺伝医学教室	大友 孝信	小胞輸送障害により生じる新規疾患の病態 解明と、幅広いリソソーム病治療法開発への 応用
	医学系	大阪大学 大学院医学系研 究科 創薬神経科学共同研 究講座/分子神経科学講座	糸数 隆秀	生体内異種細胞間相互作用に着目したパー キンソン症候群新規治療ストラテジーの創 出
新 規	薬学系	大阪大学 大学院薬学研究 科	尾花 理徳	個体恒常性の加齢性変容にも影響しうる新 たな腎老化制御機構の解明
	薬学系	和歌山県立医科大学 薬学 部	相馬 洋平	異常核タンパク質の化学変換を基盤とした 認知症治療変革への挑戦
	医学系	理化学研究所生命機能科学 研究センター 心臓再生研 究チーム	木村 航	心筋ターンオーバーにおける低酸素シグナ ルの機能と加齢性心不全治療への応用
	医学系	島根大学 医学部 発生生物 学	藤田 幸	加齢に伴う脳機能低下の分子機序解明

公益財団法人蓬庵社 XXX 年度研究助成申請書作成チェックシート

選出条件【必須】

満たされているかご確認ください。

● シオノギ製品を用いた臨床研究を含まない研究であること	<input type="checkbox"/>
● 候補者の年齢は満 55 歳以下であること	<input type="checkbox"/>

選出条件

以下について、いずれかの内容が記載されているかご確認ください。

※いずれかの項目に該当するものが一つでもあれば、対応する(1)～(3)のチェック欄にチェックを入れてください

(1) 優秀な素質を有するが、財源不足のため研究の継続が困難である研究者		<input type="checkbox"/>
1	候補者の学歴及び職歴が助成対象として相応しいか。	
2	最近 5 年間の発表論文リストの内容が助成対象として相応しいか。	
3	本研究を実施するために使用する研究施設・設備等、現在の研究環境の状況に不足が生じているか。	
(2) 他からの助成が受けにくい薬学等の基礎研究を行っている研究者		<input type="checkbox"/>
1	本研究は独立したテーマであり、助成の必要性・妥当性に問題ないか。	
2	本研究の全体構想及び研究目的について、特に次の点について焦点を絞り具体的かつ明確に記述されているか。 ①研究の学術的背景と現在の状況および、今後期待される成果 ②研究期間内に何をどこまで明らかにするのか	
(3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者		<input type="checkbox"/>
1	候補者の年齢が特に若手の満 45 歳以下である。	
2	推薦者からみた候補者の研究遂行能力の高さ、研究分野で十分大きな役割を果たすと期待する理由の記述があるか。	
(4) その他 上記以外で当財団の目的に適った研究者・テーマである場合は、理由をお書きください		

推薦者は候補者と直接的な利害関係となる事実はありません。

推薦者：

第42回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時： 令和5年7月7日(金)10時30分から16時50分

場 所： 大阪新阪急ホテル

大阪府大阪市北区芝田1丁目1-35

10:30-10:35	ご挨拶	公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二	
		<u>演 題 (講演 20 分、討論 10 分)</u>	<u>座 長</u>
10:35-	1.	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化 塩田 正之 先生 (大阪公立大学大学院 医学研究科)	岩尾 洋 先生
11:10-	2.	刺激応答性光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開 三木 康嗣 先生 (京都大学大学院工学研究科)	戸部 義人 先生
11:45-	3.	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関与する因子の検討 池田 純一郎 先生 (千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科)	北村 幸彦 先生
12:15-	昼 食 休 憩		
13:05-	4.	新規蛍光団の創製を基盤とした蛍光プローブの開発 花岡 健二郎 先生 (慶應義塾大学薬学部・大学院薬学研究科)	長野 哲雄 先生
13:40-	5.	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析 早川 清雄 先生 (日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学))	伊勢村 護 先生
14:15-	6.	《特別研究助成》 ユビキチン化酵素融合 nanobody から創り出す、新しい細胞内分子標的がん治療 稲野 将二郎 先生 (公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院)	塩野義製薬㈱ 高橋 竜也 氏
14:45-	休 憩		
15:05-	7.	《特別研究助成》 新規作用点を標的とする悪性黒色腫の治療戦略 福本 毅 先生 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学分野)	塩野義製薬㈱ 中野 祥行 氏
15:40-	8.	《特別研究助成》 がんの核酸医薬治療を目指したペプチド材料の開発 大庭 誠 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科)	塩野義製薬㈱ 三神山 秀勲 氏
16:15-	9.	《特別研究助成》 がんゲノム変異により異常をきたすタンパク質間相互作用の効率的同定と新規創薬標的の探索 樋野 展正 先生 (大阪大学大学院薬学研究科)	塩野義製薬㈱ 吉田 哲也 氏

以上

前記のとおりご報告いたします。

令和6年6月

公益財団法人 篷 庵 社

理事長 武 田 禮 二

附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年6月

公益財団法人篷庵社